

Future World 第14号

中間テストの結果はどうでしたか？

本日、中間テストの結果を配付しました。結果はいかがでしたか。良い結果を残せた人、思うような結果が残せなかった人、様々だと思います。3年生は、残り2つの重要な定期テストが残されています。改善点を分析し、次の期末テストに備えてほしいです。

発表 国公立大学合格ランキング 必読 実力テストにおける「偏差値」とは？


大学通信の調査により、先ごろ2021年度大学入試における、難関10国立大学の現役進学率ランキングが発表されました。

一昨年度より大学定員厳格化の影響で、受験生は安全第一の志願校選択が多かったため、私立高校に通う生徒の多くは、私立大学へ内部推薦や指定校推薦などを使って進学する傾向にあります。(次号で説明します)

そんな中、国公立大学に全国でどのような学校から進学しているのか見てみると、今年国公立大学入試は、私立は相変わらず強さを見せながらも、国立や公立高校もかなり健闘していることが分かります。

3年後の大学進学を考えると、私立大学への進学は私立高校の方が有利なのは間違いないです。しかし、国公立大学に関しては、必ずしも私立有利とはいえない現状であると言えます。

- 1位 灘 (私立)
- 2位 筑波大附属駒場(国立)
- 3位 札幌南 (公立)
- 4位 甲陽学院 (私立)
- 5位 北野 (公立)
- 6位 東大寺学園 (私立)
- 7位 聖光学院 (私立)
- 8位 西大和学園 (私立)
- 9位 札幌北 (公立)
- 10位 久留米大附設 (私立)

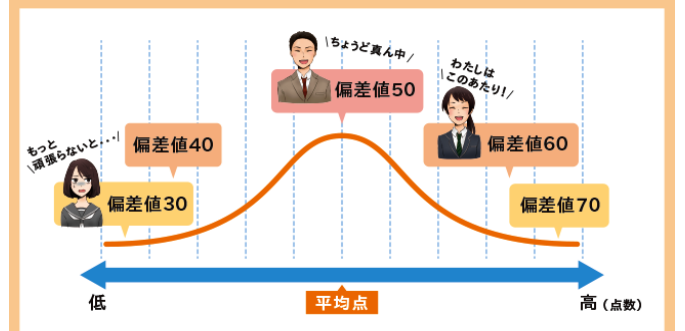
- 【愛知県】
- 16位 岡崎高校
 - 19位 刈谷高校
 - 27位 明和高校
 - 35位 一宮高校
 - 36位 東海高校
 - 37位 旭丘高校
 - 45位 向陽高校
- 合格発表
- 

さらに、愛知県について分析すると、上位50位以内に私立の東海高校を除く5校が公立高校であることから、国公立大学への現役合格という点に関して言えば、公立高校が大健闘していることとなります。しかし、就学支援金の大幅拡充により、私立志向の流れが到来しつつあり、近い将来、滝、名古屋、名城、中京といった私立勢が取って代わる可能性もあると考えられます。

9月3日に実施した実力テストの結果は、先月に返却されていますが、新たに尾張東部・名古屋市における得点に対する偏差値を算出し、配付しました。試験を受験するとよく参考にするのが、「偏差値」というものです。

偏差値とは、テストを受けた集団の中で自分がどれくらいの位置にいるかを表す数値です。例えば、英語と数学の得点がともに80点だったとしても、問題の難しさによって平均点は異なるので、どちらが良い結果だったのか判断が付きません。

偏差値とは、平均点を偏差値50になるように変換し、その基準からどれくらい高い(または低い)点数だったかを表したもので、自分の実力を相対的に把握できる便利な数値なのです。



学校の成績も大切ですが、入試に合格できる学力を上げていく努力も不可欠です。私立一般入試や公立受検を目指す生徒の皆さんにとっては、いくら成績が良くても、学力がなくては合格することはできません。私立高校の中には、学校の成績を重視せず、当日点のみで合否を決定する学校もありますし、公立高校も実力を重視する学校が近年増えてきました。ただ、実力テストの偏差値が高くても有頂天になってはいけません。当日結果を出せず、志望校が不合格となり、涙する生徒もたくさんいます。とにかく今は学習に全身全霊を注ぎましょう。